

報告 打継処理剤の性能評価に関する各種実験検討

酒井 貴洋¹⁾, 清宮 理²⁾, 水谷 征治³⁾, 田中 亮一⁴⁾

A Study on Various Tests Concerning the Performance Evaluation of Materials for Treating Construction Joint Surface

Takahiro Sakai¹⁾, Osamu Kiyomiya²⁾, Seiji Mizutani³⁾ and Ryoichi Tanaka⁴⁾

■ 要 旨 ■

散布するのみで通常の打継処理と同等の性能を確保できる打継処理剤について、力学性能および耐久性に関する定量的なデータを把握するため、直接引張試験・促進中性化試験・アウトプット法による透水試験を実施した。その結果、用いる打継処理剤によっては通常打継処理（凝結遅延剤+高圧水）よりも大きな引張強度が得られる傾向が認められた。また打継目における中性化速度は通常打継処理よりも大きいことが明らかとなった。透水試験では打継処理剤を用いることで、透水量が徐々に減少する傾向が認められ、コンクリート標準示方書に示される算定式以下の透水係数を確保できることが明らかとなった。

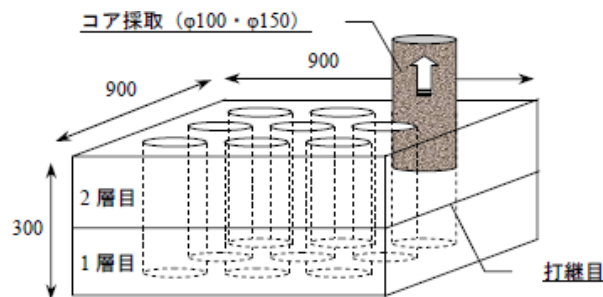


図-1 試験体の形状寸法

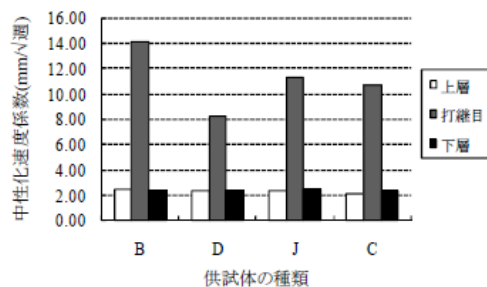


図-2 中性化速度係数の比較

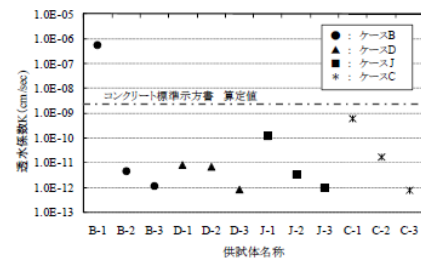


図-3 透水係数の比較（アウトプット法）

1) 技術研究所 土木技術開発部
 2) 早稲田大学 創造理工学部社会環境工学科教授
 3) 東洋建設㈱
 4) 東亜建設工業㈱

*コンクリート工学年次論文集, Vol.33, No.1(2011),
 日本コンクリート工学会, pp.1379-1384掲載